

# 都市再生整備計画(第3回変更)

みよししちゅうしんしがいちちく  
三次市中心市街地地区

ひろしまけん みよしし  
広島県 三次市

平成27年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	三次市	地区名	三次市中心市街地地区	面積	867 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

### 目標

#### 大目標：魅力と活力に満ちた中心市街地づくり

- 目標1：都市の中核・拠点機能の強化と交通結節点の整備による利便性・移動円滑化の向上
- 目標2：市民の多様な文化活動・文化交流の推進と文化情報の発信
- 目標3：河川空間における自然環境と観光資源を活かしたまちづくり

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現状

- ・本地区は、地理的に三次市の中心的に位置し、中国縦貫自動車道三次ICに近接するとともに、国道、JRが放射線状に延びる交通の要衝地である。また、地区の北東約4kmでは中国横断自動車道尾道松江線 三次東JCT・ICの整備が進められ、それにあわせ市街地を結ぶアクセス道（都）上原蕨万地線）の整備も進めており、地域間交流の広域化に対応した広域拠点として役割は更に高まると考えられる。
- ・一方では、本地区は三次市民の生活拠点・観光客等来街者に対する玄関口として位置づけがなされており、中国地方における中核都市として都市機能の更なる充実が求められているが、公共交通結節、交流・賑わい拠点など都市の中核・拠点機能の強化が遅れている。そのため、平成18年度から都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金事業）により中心市街地地区の「都市のにぎわい・魅力づくり」のため施設整備等を進めている。
- ・三次町地区に関しては、歴史的な街並みの維持・保全のために、既に街づくり協定があるなど住民協働のまちづくりが進められており、街並み環境整備事業や空き店舗対策事業、空き店舗チャレンジショップ運営費補助事業等により「歴史と文化を活かしたまちづくり」がなされている。
- ・本地区内の観光資源に関しては、三次町の歴史的な街並みをはじめ、馬洗川、西城川、江の川の三川が巴状に合流し、約430年続くの鵜飼、桜の名所や花火大会など自然を生かした観光スポットが形成されている。
- ・さらに三川合流部の魅力を最大限に引き出し、自然とふれあう拠点となるような賑わいのある水辺環境を創出するため、平成22年3月に「三川合流部周辺河川環境整備計画」を策定し、河川周辺の整備を進めている。

#### 課題

- ・都市の中核・拠点機能の強化と自然環境・観光資源を生かしたまちづくりが重要な課題である。
- 公共交通機関の拠点分散と駅周辺・市街地内における不便な歩行環境
- ・本地区内における公共交通機関の拠点であるJR三次駅と民間バス会社が経営するバスセンターは約300m離れて存在しており、高齢者の移動円滑化や観光客のスムーズな来街の障害となっているため公共交通機関の連携強化が必要不可欠である。このことから、三次駅前にバスターミナル機能を集約させるなど広域・地域の交通結節拠点としての整備が必要となっている。
- ・それにあわせ、市内外へ三次の魅力発信するため観光情報発信機能の強化が必要となっている。
- ・駅周辺部は鉄道で南北が分断されており、地域住民は駅の東西にある跨線橋や踏切まで迂回を強いられており、駅の南北を結ぶ新たな動線が必要となっている。また、中原踏切は、歩道幅員が狭く車両の交通量も多いため非常に危険な状況であり、安全で円滑な動線の確保が必要となっている。
- ・さらに市街地内を走る市道は家屋の密集により拡幅困難な市道が多く幅員が狭いため歩行者は非常に危険な状況にあり安全で円滑な動線の確保が必要となっている。
- 既存の文化会館の老朽化
- ・既存の拠点施設は老朽化（昭和48年建設）にあわせ耐震基準が満たされておらず、全市民的イベント開催時には収容人員や駐車場の限界があるなど市民の文化活動・交流に支障をきたしているため、安全性・利便性の面からも早期の移転整備が必要となっている。あわせて、移転後の周辺地区の衰退を防ぐため跡地の利用計画の策定が必要となっている。
- 川と人のふれあいの低下、河川の資源・魅力の活用不足
- ・河川を資源とした鵜飼、花火大会、尾関山周辺の桜並木など観光資源が一体的に活用されていない。また、治水対策の進展に伴い川と人のふれあい、憩いの場としての活用が低下している。
- 歴史的街並みや既存公園の活用による継続性のあるまちづくり
- ・歴史的な街並みが形成されつつある三次町地区などへの回遊性をさらに高めるとともにトイレ整備等による既存公園の高質化を図り継続性のあるまちづくりが求められている。

#### 将来ビジョン（中長期）

歴史・文化の香りと都市としての活力・豊かな自然が調和する次代へ誇れる中心市街地

- 「新市まちづくり計画」(H15年3月策定、H17年3月、H19年3月変更)
  - ・合併建設計画として策定した新市まちづくり計画においては、旧三次市の中心市街地地区を都市拠点として位置づけるとともに、10の重要プロジェクトを掲げており、本地区に関わるものとしては、「生活交通体系の整備」「定住環境の整備」「都市基盤の整備」「観光の振興」である。特に、公共交通機関の利便性の維持・向上のため交通ターミナル機能の強化としてJR三次駅周辺整備が位置づけられている。
- 「三次市総合計画」(H18年3月策定)
  - ・三次市総合計画では、観光資源の魅力アップと「観光都市みよし」の情報発信、滞在型観光を主とする入込み観光客の増加をめざすこととしている。また、都市の中核と拠点機能の強化のためJR三次駅周辺整備の推進と市民ホール整備による市民の多様な文化活動・文化交流の推進と文化情報の発信が位置づけられている。
- 「第二次三次市総合計画」(H26年3月策定)
  - ・第二次三次市総合計画では、しあわせを実感しながら、住み続けたいまち～中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～をめざすまちの姿とし、未来の三次市民により良い三次市を引き継ぐために、歴史・伝統・文化、生活環境、産業など地域の魅力と価値の増進をめざすこととしている。また、人が集まり、にぎわいがあるまちづくりのため美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上のため、三次地区における歴史・文化・芸術を活かした「三次まるごと博物館」などの観光・交流まちづくりの推進が位置づけられている。
- 「三川合流部周辺河川環境整備計画」(H22年3月策定)
  - ・三川合流部周辺河川環境整備計画では、河川の魅力を最大限に引き出し、自然と触れ合う交流の拠点となるような賑わいのある水辺環境を創出するを目的としている。また、この計画の一部は国土交通省河川局の「かわまちづくり」計画として平成22年9月24日付で認定を受けている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
駅周辺の各施設利用者の満足度	%	交通センター、駅前広場、観光情報発信施設等の利用者の利便性・移動円滑化等に関するアンケート調査による満足度（回収数110：5段階評価のうち満足・やや満足の占める割合）	都市の中核・拠点機能の強化と交通結節点の整備による利便性・移動円滑化の向上という目標に対する指標。	11.8	H22	60	H27	
河川空間の利用頻度	ポイント	三次らしい川辺づくりアンケート調査による河川空間の2項目の利用状況に対する利用頻度（2項目の利用状況に対する5段階の利用頻度のうち毎日・週・月に数回の占める割合の合計（ポイント）：回収数806）	河川空間における自然環境と観光資源を生かしたまちづくりに対する指標。	39.1	H22	69.1	H27	
文化交流拠点施設の利用者数	人/年	市民ホールの年間利用者数	市民の多様な文化活動・文化交流の推進と文化情報の発信という目標に対する指標。	43,703	H21	50,000	H27	

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:交通結節・情報発信拠点機能を持った市のエントランスの形成</p> <p>・1期事業では公共交通機関連携強化のため駅北広場、交通センターの整備を行い、鉄道とバスの公共交通結節拠点の充実・強化を図り市のエントランス形成を進めるため「交通センター」の事業用地の買収・盛土工等を進めてきた。 2期事業では引き続き、駅北広場、交通センターの完成を図る。</p> <p>・また、三次市の魅力発信拠点として観光情報発信施設の整備を行い、市のエントランスとしての機能を高める。</p>	<p>道路(基幹/(都)栗屋南畑敷線(駅北広場)、地域生活基盤施設(基幹/三次駅周辺駐輪場)、高質空間形成施設(基幹/駅北広場、交通センター)、街路事業(関連/(都)栗屋南畑敷線)</p> <p>高質空間形成施設(基幹/三次駅西公衆トイレ) 高次都市施設(基幹/観光情報発信施設) 地域創造支援事業(提案/観光情報発信施設)</p>
<p>整備方針2:都市基盤改善による安全性・利便性の向上</p> <p>・駅周辺の都市環境・基盤の強化を図るため、国道183号((都)栗屋南畑敷線)の拡幅整備、駅北広場の機能向上のための整備、及び市道中原下本谷線(中原踏切)の拡幅整備を行う。更には、(仮称)市道南北自由通路線(駅南広場含む)、及び(仮称)市道駅南線の新設整備を行い、鉄道で分断された南北の歩行者空間の環境・利便性を高める。</p>	<p>道路(基幹/(仮称)市道南北自由通路線(駅南広場含む))、道路(基幹/市道中原下本谷線歩道拡幅)、道路(基幹/(仮称)市道駅南線)、街路事業(関連/(都)栗屋南畑敷線))</p>
<p>整備方針3:市民の多様な文化活動・文化交流の推進と文化情報の発信</p> <p>・市民の文化活動・文化交流のため、老朽化した拠点施設の移転整備と周辺部の基盤整備を行い、安全性・利便性の高い拠点施設として市民のさらなる文化活動・交流の向上を促進する。</p> <p>・また、既存施設が位置する地区の衰退を防ぐため、市民と協働し跡地の利用計画を策定し、公共施設の有効活用を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹/市民ホール(三次町願万地地区))、道路(基幹/道路改築)、地域生活基盤施設(基幹/排水路整備)、街路事業(関連/(都)上原願万地線)、関連事業(市民ホール(三次町願万地地区))</p> <p>地域創造支援事業(提案/三次市歴史民俗資料館(三次町地区)) 事業活用調査(提案/三次市文化会館跡地利用計画(三次町地区))</p> <p>三次市文化会館解体事業(関連事業) 三次地区拠点整備事業(関連事業)</p>
<p>整備方針4:河川の資源・魅力を活かした交流拠点の形成</p> <p>・川を資源とした鶺鴒、花火大会、尾関山周辺の桜並木など観光資源の一体的な活用を図るため鶺鴒乗船場の基盤改善(十日市地区)を行う。また、川と人がふれあえる、地域交流・憩いの場としての活用を図るためトイレの整備(八次地区)を行う。</p>	<p>道路(基幹/道路改築)、地域生活基盤施設(基幹/広場トイレ整備(八次地区馬洗川右岸))、関連事業(鶺鴒乗船場待合所、トイレ整備)</p>
<p>整備方針5:歴史的街並みや既存公園の活用による継続性のあるまちづくり</p> <p>・歴史的な街並みが形成されつつある三次町地区の回遊性をさらに高めるため、街なみ環境整備事業(関連事業)により継続性のあるまちづくりを行う。</p>	<p>街なみ環境整備事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>■交付期間中の計画管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の重要プロジェクト事業であり、所管課を明確化し事業推進を図る。</li> <li>・各種の事業を円滑に進め、目標にむけて確実な成果を得るため、庁内及び関係機関との連絡調整会議を継続的に行う。</li> <li>・市民に対し積極的な情報公開を行い、事業の透明性を図る。</li> </ul>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	4,575	交付限度額	1,830	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

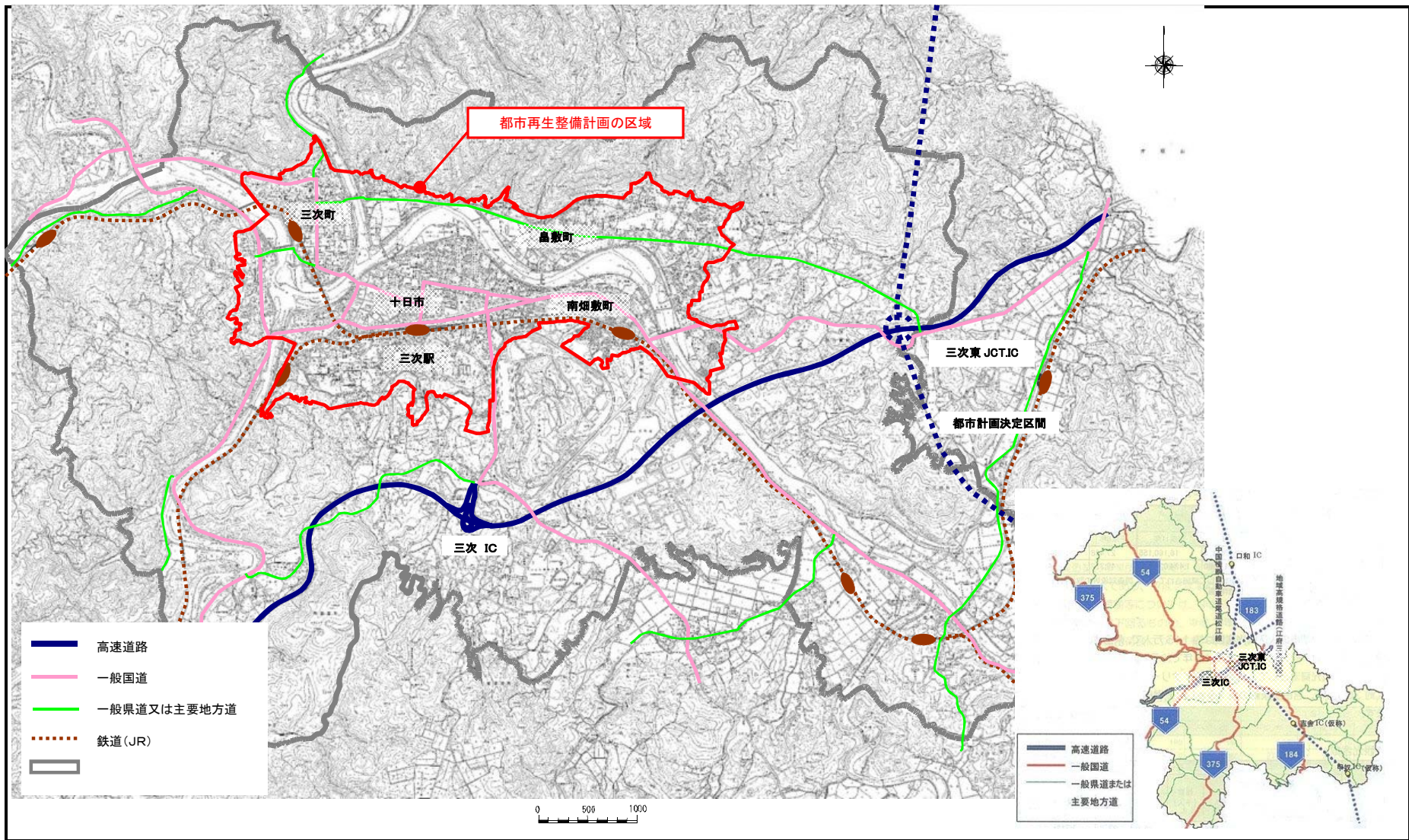
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		(都)栗屋南畑敷線(駅北広場)	三次市	直	A=6,000㎡	H19	H27	H23	H27	1,526	861	861	861	
道路		市道中原下本谷線	三次市	直	L=70m W=2~2.5m	H23	H27	H23	H27	171	171	171	171	
道路		(仮称)市道南北自由通路線	三次市	直	L=92m W=2m	H23	H25	H23	H25	562	562	562	562	
道路		(仮称)市道駅南線	三次市	直	L=295m W=2m	H23	H24	H23	H24	18	18	18	18	
道路		市道馬洗川堤防線	三次市	直	L=100m W=7.5m	H26	H26	H26	H26	2	2	2	2	
道路		市道三次116号線	三次市	直	L=110m W=6m	H24	H24	H24	H24	17	17	17	17	
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		三次駅周辺駐輪場	三次市	直	A=150㎡	H25	H25	H25	H25	15	15	15	15	
地域生活基盤施設		広場(八次地区馬洗川右岸)	三次市	直	A=8,000㎡	H25	H26	H25	H26	22	22	22	22	
地域生活基盤施設		排水路整備(三次町願万地区)	三次市	直	L=240m W=1.5m	H24	H24	H24	H24	33	33	33	33	
高質空間形成施設		(都)栗屋南畑敷線(駅北広場)	三次市	直	-	H25	H27	H25	H27	201	201	201	201	
高質空間形成施設		三次駅西公衆トイレ	三次市	直	A=40㎡	H25	H27	H25	H27	24	24	24	24	
高次都市施設		十日市コミュニティセンター駐車場	三次市	直	A=731㎡	H18	H27	H23	H27	1,406	209	209	209	
高次都市施設		観光情報発信施設	三次市	直	A=108㎡	H24	H25	H24	H25	39	39	39	39	
高次都市施設		市民ホール(三次町願万地区)	三次市	直	A=6,496㎡	H23	H26	H23	H26	3,929	2,100	2,100	2,100	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										7,965	4,274	4,274	0	4,274



都市再生整備計画の区域

<p>三次市中心市街地区(広島県三次市)</p>	<p>面積 867 ha</p>	<p>区域 十日市中、西、東、南の全部、十日市町の一部／三次町の一部／畠敷町の一部／南畑敷町の一部</p>
--------------------------	------------------	---



# 三次市中心市街地地区(広島県三次市) 整備方針概要図

目標	大目標: 魅力と活力に満ちた中心市街地づくり	代表的な指標	駅周辺の各施設利用者の満足度 (%)	11.8	(H22年度)	→	60	(H27年度)
	目標1: 都市の中枢・拠点機能の強化と交通結節点の整備による利便性・移動円滑化の向上		河川空間の利用頻度 (ポイント)	39.1	(H22年度)	→	69.1	(H27年度)
	目標2: 市民の多様な文化活動・文化交流の推進と文化情報の発信		文化交流拠点施設の利用者数 (人/年)	43,703	(H21年度)	→	50,000	(H27年度)
	目標3: 河川空間における自然環境と観光資源を活かしたまちづくり							

